

理事会議事録

日 時：2004年1月10日(土) 11:00～16:00

場 所：国立天文台大会議室

出席者：松田，祖父江，若松，杉山，郷田，関井，松原，蜂巢，土橋，土居，田，谷口，栗木，佐藤

欠席者：花見

有効委任状提出者：なし

ほかに，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した

議 長：松田卓也

署名人：杉山 直，郷田直輝

報 告

1. 前回議事録の確認（資料1）

杉山理事より前回（2003年9月25日）の理事会議事録が報告され，原案どおり承認された。

2. 今後の年会について

名古屋大学がホストとなる2004年春季年会について，佐藤理事から準備状況について 報告があった。ポスター会場についても，十分な数および広さがあることが確認され た。土居理事より，申し込まれた講演数は597で過去最高を更新したとの報告があっ た。2007年秋季年会について，岐阜大学より開催希望の立候補があり，補足資料に基づいて若松副理事長が事情説明を行った。

3. 「回転サーチライト等禁止の法制化についての要望書」（資料2）

小池百合子環境大臣宛標記要望書を，2003年12月11日に松田理事長，祖父江副理事 長，若松副理事長，杉山庶務理事が環境省に持参し，西尾哲茂環境管理局長に手渡し た経緯と，その際の懇談について，杉山理事より説明があった。松田理事長から補足 説明があり，祖父江副理事長からは，高速道路の上向き照明についての懸念が出され た。

4. 創立100周年記念出版事業編集委員会

祖父江副理事長より，標記編集委員会の活動報告があった。2003年11月29日，第2回 の編集委員会が開かれ，日本評論社を出版社として選定した。また，全15巻の内容の すり合わせを行った。各巻の内容案については，まもなくweb上に公開し，広く会員 にアンケートを求める予定である。

5. その他

(1)2004年秋年会公開講演会について

田理事から，「天の川を旅する21世紀の銀河鉄道」というタイトルの講演会を行う予 定であり，郷田直輝，真鍋盛二の両氏に講演を依頼したとの報告があった。

議 題

1. 2003年度事業報告書案(資料3)

2003年度事業報告案を杉山理事が説明し，質疑応答の後，同報告書案は承認された。

2. 2003年度決算報告書案（資料4）

2003年度決算報告書案を関井理事が報告し，質疑応答の後，報告書案は承認された。その後，今後の予算の立て方などについて意見交換を行った。

3. 2003年度監査報告（資料5）

2004年1月7日に実施された監査の結果，上記事業報告案および決算報告書案が正当で あると認められたことを監事の代理として杉山理事が報告し，理事会としても了承し た。

4. 特別会計の基金化（内地・研究奨励・早川・林・記念出版）に関する内規の制 定について（資料6）

関井理事より内部留保金（適切な使途が定まっていない部分）が非常に高い水準にな っていることが，文部科学省の担当官から問題とされた点についての説明があった。しかし，これは見 かけの問題であり，実際には適切な使途が決まっている特別会計が 内部留保に含まれているために，形式的に高い水準になってしまっている。特別会計 を内部留保からはずすためには，内 部規程を整備し，これらを基金とする必要がある。このことについて，意見交換を行い，次回の理事会までに関井理事が原案を作成 することとなった。

5. 新入会員の承認（資料7）

杉山理事より，資料に基づき，新規加入者の紹介があり，承認された。

6. 天文教材小委員会の名称について（資料8）

2003年9月26日に行われた総会での議論に基づき，標記小委員会の名称について検討 を行った。「日本天文学会委員会等に関する共通内規」の定めるところによれば，天 文教材小委員会の 名称（小委員会）は適切なものであり，一方，創立100周年記念出 版事業編集委員会は創立100周年記念出版事業編集小委員会という名称とすべきとい う結論に至り，評議員会に提案する こととなった。

7. その他

(1)2007年秋季年会について，岐阜大学がホストとなり開催することが認められた。

(2)次回以降の日程

次回の理事会は，春季年会中の3月22日（月）昼休み，次々回は7月3日（土），国立 天文台で行うこととなった。

2004年1月24日

議 長 松田卓也

署名人 杉山 直

署名人 郷田直輝